

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	環境保全工学演習	
科目基礎情報							
科目番号	0016		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	使用せず						
担当教員	上村 繁樹						
到達目標							
・現在、とくに注視すべき環境問題の実態及び基礎的な問題の発生理論を理解するとともに、日常生活との関係性を説明できる。 ・都市環境問題について、その概要を説明し、その対応策の計画・評価・見直しができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		基礎的な問題の発生理論を理解するとともに、日常生活との関係性を説明できる		基礎的な問題の発生理論を理解できる		理解していない	
評価項目2		対応策の計画・評価・見直しができる		対応策の計画・評価・見直しに関する知識がある		理解していない	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE B-2 準学士課程 2(2)							
教育方法等							
概要		前半は、昨今問題になっている環境や建設業界に関する情報を提供する。 後半は、班別に、テーマの決定、情報収集、最終報告会における報告まで行う。					
授業の進め方・方法		前半はビデオ学習やパワーポイントによるトレンドの紹介。 後半は、グループディスカッション、調査、報告海洋パワーポイントの作成などを自らで行う。					
注意点		日頃から新聞を読み、時事問題に精通しておくこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		前半の概要・達成目標・評価方法等の説明		
		2週	時事問題演習 1		新聞等のメディアから、現在わが国が直面している環境問題を任意抽出し、その発生原因、対策、今後の展望等を理論的に展開できる		
		3週	時事問題演習 2		新聞等のメディアから、現在わが国が直面している環境問題を任意抽出し、その発生原因、対策、今後の展望等を理論的に展開できる		
		4週	時事問題演習 3		新聞等のメディアから、現在わが国が直面している環境問題を任意抽出し、その発生原因、対策、今後の展望等を理論的に展開できる		
		5週	時事問題演習 4		新聞等のメディアから、現在わが国が直面している環境問題を任意抽出し、その発生原因、対策、今後の展望等を理論的に展開できる		
		6週	時事問題演習 5		新聞等のメディアから、現在わが国が直面している環境問題を任意抽出し、その発生原因、対策、今後の展望等を理論的に展開できる		
		7週	時事問題演習 6		新聞等のメディアから、現在わが国が直面している環境問題を任意抽出し、その発生原因、対策、今後の展望等を理論的に展開できる		
		8週	時事問題演習 7		新聞等のメディアから、現在わが国が直面している環境問題を任意抽出し、その発生原因、対策、今後の展望等を理論的に展開できる		
	2ndQ	9週	時事問題演習 8		新聞等のメディアから、現在わが国が直面している環境問題を任意抽出し、その発生原因、対策、今後の展望等を理論的に展開できる		
		10週	グループワーク 1		プレゼンテーションのテーマおよび班の決定		
		11週	グループワーク 2		プレゼンテーションのためのグループワークによる社会的トレンドの理解		
		12週	グループワーク 3		プレゼンテーションのためのグループワークによる社会的トレンドの理解		
		13週	グループワーク 4		プレゼンテーションのためのグループワークによる社会的トレンドの理解		
		14週	グループワーク 5		プレゼンテーションのためのグループワークによる社会的トレンドの理解		
		15週	グループワーク 6		プレゼンテーションのためのグループワークによる社会的トレンドの理解		
		16週	プレゼンテーション		自ら学習したことをプレゼンテーションできる		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	60	0	20	20	0	100
基礎的能力	0	40	0	20	20	0	80
専門的能力	0	20	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0